

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。				

授業概要

ボーカロイドソフトの基本操作、作曲をするにあたって必要な知識を学び作品を作成する。

到達目標

- ・DTMを通して音楽理論、楽器の特性を理解する。
- ・ボーカロイドソフトのオペレーションを効率的に運用できるようになる。活舌をよくする、裏声にする、ささやくような歌声にするなど、人間らしい声にするためのさまざまなテクニックを完全公開。
- ・習得した技術、知識を使い楽曲を制作技術を身につける。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。
【前期】 4～7回目	起動からボーカロイドに歌わせてる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。
【前期】 8～10回目	ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集 歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。
【前期】 11～13回目	ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解。
【前期】 14～17回目	分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。 ■前期試験:ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	イメージした物を表現、制作するために必要な技術、知識を学び、将来クリエイティブな仕事ができるようになります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DTM		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。				

授業概要

昨今の音楽シーンに欠かせなくなってきたDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。

到達目標

PC(Mac)やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。
【前期】 4～7回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。①リズム隊
【前期】 8～10回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。②メロディ
【前期】 11～13回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。③コード楽器
【前期】 14～17回目	前期テストの提出のために上記楽曲を完成させ、データの送受信のノウハウを習得する。 ■前期試験:前期課題曲でオペレーション到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	作詞作曲		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。				

授業概要

理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。

到達目標

- ・ダイアトニックコードを理解する。
- ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。
- ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【前期】 4～7回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【前期】 8～10回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【前期】 11～13回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【前期】 14～17回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■前期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・私立恵比寿中学「アルバム/MUSIC」の楽曲「踊るロクデナシ」等、レコーディング時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的な演奏技術、リズムの知識等」の指導を行う。				

授業概要

- ・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。
- ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングを試みる。
- ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。
- ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。

到達目標

- ・リズム感を養う。
- ・拍や小節の概念を知る。
- ・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。
- ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカヴァー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。
- ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【前期】 4～7回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【前期】 8～10回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【前期】 11～13回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【前期】 14～17回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■前期試験：課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色々なリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベース		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・JUON, MACO, TOC等様々なアーティスト音源のレコーディング参加。 ・Othello, The Baker Brothers, US3等様々なアーティストとの共演。 				

授業概要

エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。

到達目標

- ・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。
- ・理論やベースにおいての知識を身につける。
- ・ベースラインを作成し実際にプレイする。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【前期】 4～7回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【前期】 8～10回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【前期】 11～13回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【前期】 14～17回目	前期まとめ。 ■前期試験：課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、編曲の技術と知識等」の指導を行う。				

授業概要

エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。

到達目標

- ・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。
- ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。
- ・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。
- ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【前期】 4～7回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【前期】 8～10回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【前期】 11～13回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【前期】 14～17回目	総合復習 ■前期試験:課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターに触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				

授業概要

アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。

到達目標

- ・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。
- ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。
- ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【前期】 4～7回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【前期】 8～10回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【前期】 11～13回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【前期】 14～17回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■前期試験:課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はずきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌ってみた		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	『Make Me』でデビュー。2枚目となるシングル『Precious Story／タカラモノ』をリリースし、発売後、ユニバーサルホームのテレビCMにも起用された。CDリリースは約束の場所へ / UNION・ボクたちのホームラン / 福岡ソフトバンクホークス オリジナル演出曲集など。ラジオパーソナリティー・LOVE FM(過去担当番組:「So High!」「Music Primary」「Life Time Melody」)も行う。				
授業概要					
ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。 ・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【前期】 4～7回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【前期】 8～10回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【前期】 11～13回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【前期】 14～17回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	英会話		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					

授業概要

英語でコミュニケーションを取る時に必要な知識の習得を目指す。

到達目標

- ・英語の基本的な文法や単語などを習得する。
- ・英文章を読み理解が出来るようになる。
- ・英会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	前期:簡単な単語と基礎的な文法①
【前期】 4～7回目	前期:簡単な単語と基礎的な文法②
【前期】 8～10回目	前期:日常英会話①
【前期】 11～13回目	前期:日常英会話②
【前期】 14～17回目	前期:簡単な日常会話を実際にやってみる。 ■前期試験:簡易的な英会話のやり取りで、授業の理解度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	英語でコミュニケーションが取れる様になると、生活や音楽活動にも幅が出ます。 簡単な英会話から学び、英語での会話力を身に付けましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音トレ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース ・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン 				

授業概要

音符の読み方からコードやメロディの理解、必要なセオリーの基礎の習得。
また聴音、リズムトレーニングをしていきます。

到達目標

セオリーや聴音、リズムトレーニングを通して曲に対する理解度を深め、各々の専門分野とリンクさせる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	音高・音名。シャープ系のメジャースケール。
【前期】 4～7回目	フラット系のメジャースケール。調号・キーサイン。インターバル。
【前期】 8～10回目	ダブルシャープ、ダブルフラット。インターバルの作成。トライアド。
【前期】 11～13回目	音符・休符。拍子・拍子記号。
【前期】 14～17回目	マイナースケール、同名調(同主調、パラレルキー) ■前期試験:筆記試験にて「譜面の基礎名称の理解 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽の基礎である「音」を様々な視点から捉えられるようになります！ 音楽生活・仕事に役立つように自身の「耳」も鍛えていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	Vtuber		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡県ご当地Vtuber「舞鶴よかと」初代プロデューサー(2018~2021)キャラクター・企画立案、映像制作、配信環境構築、配信オペレーター。その他多数のVtuberの動画制作、モデル制作(live2D、3DCG)、ミュージックビデオの撮影・編集。映像クリエイターとしてAfterEffects、PremierePro、Mayaなどの映像制作ソフトを10年以上実務で使用。				
授業概要					
Vtuberの仕組みやVtuber業界のことを学ぶ。					
到達目標					
Vtuberを通して昨今のインターネットにおける流行を学び、将来の自身の活動へ活かせるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1~3回目	Vtuber業界のことや仕組みを知る。
【前期】 4~7回目	配信者としてのトーク力や自己表現力を鍛える。
【前期】 8~10回目	Vroid studioを使用し、自身の分身となるアバターを作る。
【前期】 11~13回目	作ったアバターで配信のデモンストレーションを行う。
【前期】 14~17回目	生徒同士でのコラボレーション企画を考え、配信のデモンストレーションを行う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/ソフト知識/基本操作/自己表現/授業理解度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	もはや新しい文化のひとつとなったVtuber。その仕組みと、動画制作や生配信のやり方を体験しながら学びましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画撮影		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ドラマアシスタントプロデューサー、音楽系マネージャー歴3年、俳優系マネージャー歴6年、映画アシスタントプロデューサー、タレントマネジメント歴21年経験。プロデューサーやマネージャーの経験からその視点で活かしたカメラワークなどのテクニックを持つ。				

授業概要

動画撮影の基礎的な知識を学び、実際に撮影しながらテクニックを学ぶ

到達目標

何を撮るか企画を考え、撮影し、編集してひとつの作品を制作する
 撮影機材は携帯、ミラーレスカメラ等自由
 編集ソフトも自身のやり易いものを使用

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	動画制作における企画を考える
【前期】 4～7回目	動画撮影、チェック反省を重ねる
【前期】 8～10回目	動画撮影、チェック反省を重ねる
【前期】 11～13回目	動画編集、チェック反省を重ねる
【前期】 14～17回目	動画編集、チェック反省を重ねる 【前期テスト】作品提出
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、メジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。				

授業概要

ドラムセット、ギター、キーボード等の構造と仕組み、セッティング、弦交換、ケーブル作成、ドラムヘッドの張替え、簡単なエフェクター製作、メンテナンスの実技指導を行う

到達目標

幅広い楽器知識と実習経験を他学科でも活かせる事

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス
【前期】 4～7回目	ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成
【前期】 8～10回目	エフェクターに使われる部品説明～製作
【前期】 11～13回目	簡単なエフェクター製作
【前期】 14～17回目	■前期試験：筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ドラムヘッド交換・チューニング等/ギター弦交換・チューニング等/半田付け技術の習得」の3項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	多種多様な楽器の知識を理解してプラスになれるように学んでください。
備考	適宜テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡のレコーディングスタジオにおいて約20年エンジニアとして在籍の後、現在はフリーランスとしてスタジオレコーディングやライブレコーディングを担当。また、PAオペレート業務、楽器や音響機器のメンテナンスなども行う。□				

授業概要

- ①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。
- ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品の完成するまでの過程を把握する。

到達目標

- ・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。
- ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【前期】 4～7回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【前期】 8～10回目	レコーディング実習(録音編)
【前期】 11～13回目	編集、ミックス実習
【前期】 14～17回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	項目毎にテキストプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	専門学校卒業後、音響、楽器リペア専門会社に入社後、独立。個人機材を所有しライブ、イベント等の仮設音響業務、ライブハウスの音響管理、アーティストに帯同し乗り込みオペレーター業務、楽器メンテナンス、レコーディング業務に携わる。				

授業概要

- ①アナログの音響卓の操作。
- ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。
- ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。

科目のねらい

- ・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。
- ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【前期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【前期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【前期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【前期】 14～17回目	前期試験準備。 ■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。				

授業概要

ボーカロイドソフトの基本操作、作曲をするにあたって必要な知識を学び作品を作成する。

到達目標

- ・DTMを通して音楽理論、楽器の特性を理解する。
- ・ボーカロイドソフトのオペレーションを効率的に運用できるようになる。活舌をよくする、裏声にする、ささやくような歌声にするなど、人間らしい声にするためのさまざまなテクニックを完全公開。
- ・習得した技術、知識を使い楽曲を制作技術を身につける。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。
【後期】 4～7回目	起動からボーカロイドに歌わせてる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。
【後期】 8～10回目	ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集 歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。
【後期】 11～13回目	ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解。
【後期】 14～17回目	分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。 ■後期試験:ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	イメージした物を表現、制作するために必要な技術、知識を学び、将来クリエイティブな仕事ができるようになります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DTM		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。				

授業概要

昨今の音楽シーンに欠かせなくなってきたDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。

到達目標

PC(Mac)やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 4～7回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 8～10回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 11～13回目	自身が選んだ選択曲を前期のカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 14～17回目	後期テストに向けて完成を目指す。 ■後期試験:後期課題曲でオペレーション到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	作詞作曲		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のオリジナルバンド『Raspberry Dream』(ラズベリー・ドリーム)では作詞作曲も担当し、4枚のアルバムを全国リリース。鹿児島繋がるキャンペーン、トヨタカローラ福岡等のCM楽曲制作も行う。				

授業概要

理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。

到達目標

- ・ダイアトニックコードを理解する。
- ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。
- ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【後期】 4～7回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【後期】 8～10回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【後期】 11～13回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【後期】 14～17回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■後期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<p>・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</p> <p>・私立恵比寿中学「アルバム/MUSIC」の楽曲「踊るロクデナシ」等、レコーディング時のバックアップミュージシャン</p> <p>上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的な演奏技術、リズムの知識等」の指導を行う。</p>				

授業概要

- ・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。
- ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングを試みる。
- ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。
- ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。

到達目標

- ・リズム感を養う。
- ・拍や小節の概念を知る。
- ・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。
- ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカヴァー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。
- ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【後期】 4～7回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【後期】 8～10回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【後期】 11～13回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【後期】 14～17回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■後期試験：課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色々なリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベース		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・JUON, MACO, TOC等様々なアーティスト音源のレコーディング参加。 ・Othello, The Baker Brothers, US3等様々なアーティストとの共演。 				

授業概要

エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。

到達目標

- ・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。
- ・理論やベースにおいての知識を身につける。
- ・ベースラインを作成し実際にプレイする。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【後期】 4～7回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【後期】 8～10回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【後期】 11～13回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【後期】 14～17回目	後期まとめ。 ■後期試験：課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、編曲の技術と知識等」の指導を行う。				

授業概要

エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。

到達目標

- ・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。
- ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。
- ・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。
- ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【後期】 4～7回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【後期】 8～10回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【後期】 11～13回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【後期】 14～17回目	総合復習 ■後期試験: 課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターに触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				

授業概要

アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。

到達目標

- ・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。
- ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。
- ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【後期】 4～7回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【後期】 8～10回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【後期】 11～13回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【後期】 14～17回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■後期試験:課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はずきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌ってみた		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	『Make Me』でデビュー。2枚目となるシングル『Precious Story／タカラモノ』をリリースし、発売後、ユニバーサルホームのテレビCMにも起用された。CDリリースは約束の場所へ / UNION・ボクたちのホームラン / 福岡ソフトバンクホークス オリジナル演出曲集など。ラジオパーソナリティー・LOVE FM(過去担当番組:「So High!」「Music Primary」「Life Time Melody」)も行う。				

授業概要

ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。

到達目標

- ・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。
- ・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【後期】 4～7回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【後期】 8～10回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【後期】 11～13回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【後期】 14～17回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	英会話		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					

授業概要

英語でコミュニケーションを取る時に必要な知識の習得を目指す。

到達目標

- ・英語の基本的な文法や単語などを習得する。
- ・英文章を読み理解が出来る様になる。
- ・英会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	後期:実際の日常会話の聴き取り①
【後期】 4～7回目	後期:実際の日常会話の聴き取り②
【後期】 8～10回目	後期:長文読解①
【後期】 11～13回目	後期:長文読解②
【後期】 14～17回目	後期:長文読解③ ■後期試験:本の一節を読んで英語でディスカッションしてみる。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	英語でコミュニケーションが取れる様になると、生活や音楽活動にも幅が出ます。 簡単な英会話から学び、英語での会話力を身に付けましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音トレ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース ・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン 				

授業概要

音符の読み方からコードやメロディの理解、必要なセオリーの基礎の習得。
また聴音、リズムトレーニングをしていきます。

到達目標

セオリーや聴音、リズムトレーニングを通して曲に対する理解度を深め、各々の専門分野とリンクさせる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	音高・音名。シャープ系のメジャースケール。
【後期】 4～7回目	フラット系のメジャースケール。調号・キーサイン。インターバル。
【後期】 8～10回目	ダブルシャープ、ダブルフラット。インターバルの作成。トライアド。
【後期】 11～13回目	音符・休符。拍子・拍子記号。
【後期】 14～17回目	マイナースケール、同名調(同主調、パラレルキー) ■後期試験:筆記試験にて「譜面の基礎名称の理解 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽の基礎である「音」を様々な視点から捉えられるようになります！ 音楽生活・仕事に役立つように自身の「耳」も鍛えていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	Vtuber		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡県ご当地Vtuber「舞鶴よかと」初代プロデューサー(2018~2021)キャラクター・企画立案、映像制作、配信環境構築、配信オペレーター。その他多数のVtuberの動画制作、モデル制作(live2D、3DCG)、ミュージックビデオの撮影・編集。映像クリエイターとしてAfterEffects、PremierePro、Mayaなどの映像制作ソフトを10年以上実務で使用。				
授業概要					
Vtuberの仕組みやVtuber業界のことを学ぶ。					
到達目標					
Vtuberを通して昨今のインターネットにおける流行を学び、将来の自身の活動へ活かせるようになる。					

授業計画・内容	
【後期】 1~3回目	Vtuber業界のことや仕組みを知る。
【後期】 4~7回目	配信者としてのトーク力や自己表現力を鍛える。
【後期】 8~10回目	Vroid studioを使用し、自身の分身となるアバターを作る。
【後期】 11~13回目	作ったアバターで配信のデモンストレーションを行う。
【後期】 14~17回目	生徒同士でのコラボレーション企画を考え、配信のデモンストレーションを行う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/ソフト知識/基本操作/自己表現/授業理解度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	もはや新しい文化のひとつとなったVtuber。その仕組みと、動画制作や生配信のやり方を体験しながら学びましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画撮影		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ドラマアシスタントプロデューサー、音楽系マネージャー歴3年、俳優系マネージャー歴6年、映画アシスタントプロデューサー、タレントマネジメント歴21年経験。プロデューサーやマネージャーの経験からその視点で活かしたカメラワークなどのテクニックを持つ。				

授業概要

動画撮影の基礎的な知識を学び、実際に撮影しながらテクニックを学ぶ

到達目標

何を撮るか企画を考え、撮影し、編集してひとつの作品を制作する
 撮影機材は携帯、ミラーレスカメラ等自由
 編集ソフトも自身のやり易いものを使用

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	動画制作における企画を考える
【後期】 4～7回目	動画撮影、チェック反省を重ねる
【後期】 8～10回目	動画撮影、チェック反省を重ねる
【後期】 11～13回目	動画編集、チェック反省を重ねる
【後期】 14～17回目	動画編集、チェック反省を重ねる 【後期テスト】作品提出
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、メジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。				
授業概要					
ドラムセット、ギター、キーボード等の構造と仕組み、セッティング、弦交換、ケーブル作成、ドラムヘッドの張替え、簡単なエフェクター製作、メンテナンスの実技指導を行う					
到達目標					
幅広い楽器知識と実習経験を他学科でも活かせる事					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス
【後期】 4～7回目	ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成
【後期】 8～10回目	エフェクターに使われる部品説明～製作
【後期】 11～13回目	簡単なエフェクター製作
【後期】 14～17回目	■後期試験：筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ドラムヘッド交換・チューニング等/ギター弦交換・チューニング等/半田付け技術の習得」の3項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	多種多様な楽器の知識を理解してプラスになれるように学んでください。
備考	適宜テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡のレコーディングスタジオにおいて約20年エンジニアとして在籍の後、現在はフリーランスとしてスタジオレコーディングやライブレコーディングを担当。また、PAオペレート業務、楽器や音響機器のメンテナンスなども行う。□				

授業概要

- ①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。
- ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品の完成するまでの過程を把握する。

到達目標

- ・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。
- ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

授業計画・内容

【後期】 1～3回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【後期】 4～7回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【後期】 8～10回目	レコーディング実習(録音編)
【後期】 11～13回目	編集、ミックス実習
【後期】 14～17回目	■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	項目毎にテキストプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	専門学校卒業後、音響、楽器リペア専門会社に入社後、独立。個人機材を所有しライブ、イベント等の仮設音響業務、ライブハウスの音響管理、アーティストに帯同し乗り込みオペレーター業務、楽器メンテナンス、レコーディング業務に携わる。				

授業概要	
<p>①アナログの音響卓の操作。 ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。 ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。</p>	
科目のねらい	
<p>・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。 ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。</p>	

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【後期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【後期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【後期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【後期】 14～17回目	後期試験準備。 ■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布